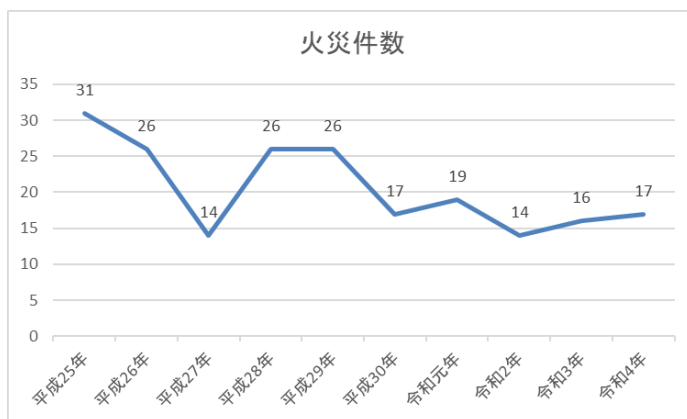


令和4年 犬山市火災概要

火災件数・死傷者数

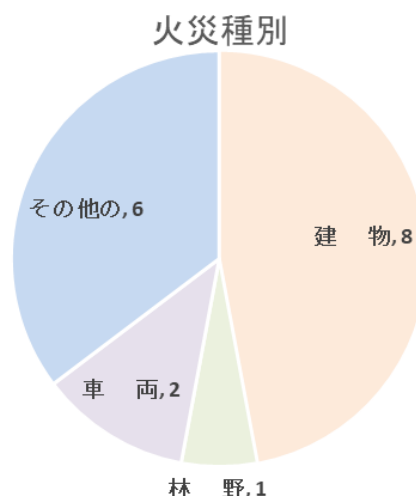
令和4年中に発生した火災件数は17件で、前年の16件から1件増加しました。死傷者数は、0人でした。

火災件数17件という件数は、消防本部が統計を開始した昭和40年からの火災平均件数38.5件より21.5件も低い件数で、火災件数は年々減少傾向にあるといえます。



火災種別

火災の種別は、建物火災が8件、林野火災1件、車両火災が2件、その他の火災が6件となっています。建物火災8件のうち一般住宅からの火災が1件発生しています。住宅用の火災警報器は、早期に火災を発見し、被害の拡大を防ぎますので、未設置の住宅は、早急に設置をお願いします。また、住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなるため、定期的に作動確認を実施し、古くなったものは取り替えましょう。



出火原因

出火原因の1位は、たき火が5件。2位が放火（放火疑い含む）とたばこが3件で、続いてこんろが1件、その他が5件でした。たき火は、平成29年から6年連続で出火原因のトップになっています。

たき火から火災に至る経過をみると、田んぼや畑で行う野焼きや、家庭の一般ゴミを焼却する行為などから付近の枯草に延焼することで火災が発生しています。

また、たき火から建物や林野に燃え移る事例や、消火を試みた人の着衣に着火し死傷者が発生する事例も過去に発生しています。

たき火は火災と隣り合わせで危険を伴う行為です。枯草は刈り取って可燃ゴミとして排出するなどし、家庭から出る一般ゴミは適正に分別して決められた収集日に処分しましょう。

過去5年の出火原因トップ3

平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
たき火 6件	たき火 7件	たき火 4件	たき火 3件	たき火 5件
電気関係 2件	たばこ 2件	電気関係 3件	放火（疑い含む） 3件	放火（疑い含む） ・たばこ 3件
こんろ 1件	電気関係 2件		電気関係 ・たばこ 2件	こんろ 1件

※令和2年の出火原因はたき火、電気関係以外は「その他」となります。

令和4年 犬山市月別火災概要表（1月～12月）

月 別 火 災 概 要

区分 月	出火件数	火災種別				死傷者数		建物		焼損棟数	り災世帯数	前年出火件数	前年比較
		建物	林野	車両	その他の	死者	負傷者	床面積（㎡）	表面積（㎡）				
1月	1				1							3	△2
2月	2				2							3	△1
3月												3	△3
4月	1	1							1	1		1	
5月	1		1										1
6月												1	△1
7月	2	2							2	2	1	1	1
8月	1				1							1	
9月	1			1									1
10月	2			1	1							2	
11月	4	3			1			135	2	6		1	3
12月	2	2							1	2	1		2
計	17	8	1	2	6			135	6	11	2	16	1
前年	16	9	1	1	5		1	21	23	9	1		
比較	1	△1		1	1		△1	114	△17	2	1		

出火原因・出火件数

区 分	出火件数	割合%
失 火	13	76.5%
放火（疑い含む）	3	17.6%
自然発火・再燃		
不 明		
その他	1	5.9%
計	17	